



## 輸血検査

A O B AB

出血が多いときや貧血が強いときなど、血液を補わないと生命に影響がおよぶと判断される場合には輸血療法が行われます。

ところが「ヒト」の血液にはA B O式をはじめとして多くの血液型があるために、輸血を行う際には患者様に適合する血液を選択しなければなりません。

その適合する血液を選択するために行う検査、それが輸血検査です。

### << どんな検査があるの? >>

#### 1 : A B O式血液型

性格占いなどで良く知られている血液型ですね。A型、O型、B型、A B型などに分けられます。

そして輸血を行う際には最も重要な血液型です。例外はありますが、患者様と同じ血液型の血液を輸血します。

#### 2 : R h o ( D ) 抗原

ドラマなどでたまに登場する血液型です。「A B型・R h マイナスの血液を準備!!」などと言って、、、

陽性、陰性などに分けられますが、日本人の99.5%は陽性といわれています。A B O式と同じように例外はありますが、患者様と同じ血液型の血液を輸血します。

### 3 : 不規則性抗体スクリーニング

輸血した赤血球を壊してしまうタンパクの一つに不規則性抗体というものがあるのですが、その有無を確認する検査です。

患者様が不規則性抗体を保有していることがわかった場合、その不規則性抗体と反応しない血液を選択して輸血することになります。

### 4 : 交差適合試験

患者様の血液と輸血しようとする血液を直接反応させて適合性を確認する検査です。輸血直前の最終確認的な検査といえます。

これらの検査を行うことにより、患者様との適合性が確認された血液だけが輸血され、溶血性副作用が起きる可能性はほぼ避けることができるのです。



輸血用血液 (RC-MAP)

## <<トピックス>>

ところでテレビや新聞などで、「**輸血後に発症した感染症**」の話題が時々でているのをご存じですか？

赤十字血液センターでは、現在最高水準の検査を行った後に輸血用の血液を供給しています。しかし、それでもその限界を超えて微量のウイルスが混入した血液が供給されてしまうことが非常に稀にあることがわかっています。

現在その改善のための努力は続いているのですが、残念なことにその可能性を0にすることは難しいのが現実のようです。

そこで万一、輸血を受けることがあった時には、エイズ、B型肝炎、C型肝炎などの**ウイルス感染の有無を輸血後に確認**することは非常に重要なことといえます。